

# 報告書

## ～伊勢神宮正式参拝を終えて～

去る9月14日（土）～15日（日）に2回目の支部行事である

「伊勢神宮正式参拝」を行いました。1泊での研修は実に2018年度

以来という事で、コロナ禍を得て宿泊を伴う支部行事も復活し、

会員の交流が活発に行われました。

会員の方の感想をいただきましたのでご紹介いたします。



若木育成会第四支部様よりのご厚遇を頂き、この敷島で最高の格式を誇る二社にお参りさせて頂きました。

お伊勢参りは個人的には四年振りとなりましたが、やはり國學院大學のご威光ですね、外宮内宮への特別参拝においては、一般人では入り得ない処までお通し頂き、まこと稀有な体験をさせて頂きました。

神宮会館への投宿もまた、学生時代の合宿気分を思い起こさせ、和気あいあいと食事に地酒にと愉快的ことでありました。

同館の催行する早朝からのお伊勢ガイドツアーがたいへん有意義で、幅広くお伊勢様のことを学ばせて頂きましたことを付け加えます。

お伊勢様の帰路に立ち寄った熱田神宮へは初参拝となりました。同社の広大な境内の自由散策を楽しみ、大いに満喫することが出来ました。

二社とも御朱印を求める参拝者の多さに、私たちの周りに空気のように漂い、呼気に紛れて肺腑を満たしている、敷島の神々への何気ない自然な崇敬心を感じ得た次第ですが、翻って考えますと日本の神話、神々のことを、私たちはもったきちっと知らなければいけないと感じさせられました。神代からの歴史をきちっと教えない学校教育の問題点でもあり、例えば「海幸山幸」や「天岩戸」といった神々の物語に子供の頃から親しむことが、この島国に広義の産土を感じる事が、この風土文化を大事に育んでいこうという情操に繋がるのではと思う次第です。

幹事の方々にはすっかりお世話になりました。大変綿密な旅程の管理をして頂き、こちらはそれに乗るだけという誠に恐縮なことで、大変感謝致しております。次回またこのような機会を頂ければ、参加させて頂きたいと思っております。皇尊弥栄。佐藤晋

## 大学1年M君

今回、伊勢神宮および熱田神宮の参拝を経て、日本の神社の由緒について深く知れました。伊勢神宮はとても神秘的で、時間が過ぎることさえも忘れさせるような、とても素晴らしい場所でした。そして、私は史学科なので、考古学的見地からも貴重な掘立柱建物が現役で使われているのを見て、技術の伝承は大事であると実感しました。

熱田神宮も、都会の中心に、格式の高い神社が建っているのは、付近に古墳があるなど、地元の方々が昔からこの周囲は神域として守ってきたことが由来であると思いました。



## 大学3年S君

### ～豊受大神宮の柵の内側へ～

神楽では神秘的な音楽が奏でられ、神秘的な舞が舞われた。見てただけで、身体が軽くなる感覚がした。柵の内側は、外側とは違い厳かな雰囲気であり、非常に緊張した。

### ～皇大神宮の柵の内側へ～

神々しく温かな光芒を感じた。神楽も外宮に負けないような厳かな様相であった。内部も隅々まで整備が行き届いており、非常に巡りやすい場所であった。



新たな友人と知り合うことができ、二度三度と経験することはないであろう伊勢神宮への参拝を経験できて非常に素晴らしい時間を過ごせました。

日本という國に生まれ、そしてその文化、歴史、社会の下でどのように生き、どのように歩むかという自己の信念が確固たるものとなる時期に、このような経験が出来たことは生涯で誇れることであると感じます。

保護者様方の集まりの中、我々学生に参加の機会を与えてくださった皆様、今回の旅行の計画等を立ててくださった皆様、改めまして有難う御座いました！！

